



そろばんは頭をよくする魔法の道具。

Let's soroban

2019年始動！今年は新天皇即位、新元号、消費税アップなど22世紀の歴史の教科書に掲載されそうなエポックメイキングなイベントが目白押しです。

生徒たちが「分かる喜び」を体感できるようサポートしていきます。本年もよろしくお願いいたします。

下にあるのはAERA dot. からの抜粋です。興味のある方はサイトにアクセスしてみてください。

東大卒ママ、杉山奈津子さんが念願のそろばんスクールを初体験。そろばん教育の効果について村上知子先生と語りました。



あおいそろばんスクール講師村上 知子さん(写真 左)
保険会社勤務後、2児の子育てが一段落したあと、静岡市で同スクールを開校。全国珠算教育連盟会員。

作家/イラストレーター杉山 奈津子さん(写真 右)
静岡県生まれ。東京大学薬学部卒業。『精選版 偏差値29からの東大合格法』など著書多数。

杉山 息子が4歳なんです。習わせてみたいけれど1時間も座っていられるかが心配で。

村上 当スクールの未就学児クラスは一コマ 50分ですが、その長さなら大体の子ができます。子どもの集中力が続くよう、授業も細切れにしていますしね。そこは小学生クラスも同じで、フラッシュ暗算や読み上げ算をやった後、レベル別のテキストで自習、1枚できたら先生に見せるという具合に。

杉山 授業でも飽きさせない工夫を感じました。楽しく続けられることが一番ですよ。

村上 継続してこそ得られるものも大きいですからね。そろばんは検定試験も多くて、級が上がるのがやる気につながりやすい。逆にダメだったとしても、その挫折が子どもの財産になります。

杉山 先生は間違っても答えを教えず「もう一回やっごらん」って。自分で弱点を見つけ、粘り強く修正していくことは受験でも必要な能力だと思います。

村上 「そろばんは脳のスポーツ」といわれますが、制限時間を設けることで速く正確に計算するクセがつき、集中力も磨かれます。小さいころから検定試験を受けてきたことで、ある生徒は高校受験のとき、「まったく緊張しなかった」と。コツコツ練習を続けて本番で自分のマックスの力を発揮する、それが自然に身につくと思います。

杉山 東大入試でも時間内にどれだけできるかが鍵。計算が速いと他の問題にかけられる時間が長くなりますし、圧倒的に有利なんですね。だけど、そろばんの魅力って計算だけじゃない。集中力や忍耐力、自発力も鍛えられること。今は学校でもほとんどやりませんから、やっている子のアドバンテージって相当なものだと思うんです。

村上 そうですね。スマホの検索で簡単に答えがわかってしまうような時代ですから、それ以前に脳を使う、学習の土台を作っておくことは非常に大切。スポーツでも集中力を鍛えることはできますが、そろばんはメンタルを鍛えながら計算力もついてしまうのがお得なところ(笑)。しかも、スポーツや音楽と違い、センスがなくてもある程度の成長は見込めます。間口の広い習い事だと思いますよ。

昨年ソロパソ塾にも4歳の生徒(女の子)が入塾しました。

最初の頃は周りにいるのは知らない人ばかり…という教室の中で戸惑いながらレッスンをスタートしましたが、数週間も過ぎるとすぐに周りにも慣れてきますし、今ではもう立派なソロバン キッズです！

就学前児童の場合、・自分の席について一定時間、集中することができる ・先生のお話をきちんと聞くことが出来る…などができれば、基本的には入塾OKです。村上先生も言っていますが、そろばんは敷居の低い習い事であり、一生役立つスキルを身に着けることが出来ますよ～☺

